

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【 北九州市立戸畑中央小学校 】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	第5学年 4学級 110名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	車いすバスケットボール体験を通して、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて、自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。 アレアス職員の講話を通して、パラスポーツへの理解を深め、スポーツへの主体的な参画意識（「する」「見る」「支える」「調べる」「創る」）や他者と協働しつつ、主体的に取り組む態度、多様性の尊重、公德心の向上・育成を図る。
5 取組内容	①車いすバスケットボール体験活動 アレアス職員による車いすバスケットボール体験を行った。ドリブル、シュートの基礎的な練習をした。 



②アレアス職員による講話

車いすバスケットボール以外のパラスポーツについて、パラリンピックの競技種目を中心に児童へ紹介していただく。パラスポーツに関わる中で感じたこと・考えたことなど、自身の体験を講話していただいた。



	<p>②アレアス職員による講話</p> <p>車いすバスケットボール以外のパラスポーツについて、パラリンピックの競技種目を中心に児童へ紹介していただく。パラスポーツに関わる中で感じたこと・考えたことなど、自身の体験を講話していただいた。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>パラリンピックをテレビで見たという児童は多かったが、パラスポーツの種類の多さに驚き、もっと調べたいという興味関心が高まっていた。また、それぞれのスポーツはみんなが楽しむことができるようにルールが工夫されていたり、障害によってランクが決められたりしていることを知り、インクルーシブな社会の必要性や、多様なものの見方が重要であることに気づいていた。本市の障害者スポーツの取組や施設についてもっと知りたいといった興味関心の高まりが見られた。</p> <p>【児童の感想より】</p> <p>私は今日、この話を聞くまでパラリンピックやパラスポーツは自分とは関係ないものと思っていました。しかし、それはとても身近にあるものだと感じました。それに、私たちにできることもありました。それは「関わること」です。パラリンピックやパラスポーツについて調べ、「知る」ことです。これからは、自分が気になったこと、監視委を持ったことなどをたくさん調べ、パラリンピックやパラスポーツについてもっと知りたいです。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>本校職員に車いすバスケットボールの競技者がいるので、事前に車いすの操作体験をしたり、車いすバスケットボールとの出会いについて話をしたりしてもらった。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルスの影響により、全学年を対象とした活動や講演会を設定するのが難しく、すべての児童に十分な体験の場を保障することができない。 ○ 現役の選手を招聘するのは、日程の調整が難しい。また、新型コロナウイルスの感染拡大地域に講師が在住している場合、講師を招聘できなくなることが予想されるため、計画を立てることが難しい。

9 来年度以降の 実施予定	<ul style="list-style-type: none">○ 総合的な学習の時間を活用して、オリンピックやパラリンピックの歴史・競技種目などを調べて発表する活動を行う。○ オリンピックやパラリンピックに出場経験のある選手を招聘し、子どもたちと交流を行う。○ オリンピックやパラリンピックの競技種目の中からいくつかを選び、学年別にスポーツ大会（ミニオリンピック）を開催する。
------------------	---